

アルソシア道路株式会社

作成:2020年10月1日

改訂:2026年10月1日

安全データシート(SDS)

1. 製品および会社情報

製品名	ロードケアシール
	舗装のクラックおよび接合部のシーリングおよび保護
会社名	アルソシア道路株式会社
住所	東京都新宿区西新宿6丁目24番1号
担当部門	本店 製品部
電話番号	03-6258-1576
FAX番号	03-6258-1593
緊急連絡先	担当部 本店 製品部 電話番号03-6258-1576
	受付時間 月曜日～金曜日 09:00～16:00

2. 危険有害物の要約

GHS分類

急性毒性(経口):	区分外(シンボル:なし、注意喚起語:なし)
急性毒性(経皮):	区分外(シンボル:なし、注意喚起語:なし)
急性毒性(吸入):	分類できない(シンボル:なし、注意喚起語:なし)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性:	区分外(シンボル:なし、注意喚起語:なし)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:	区分外(シンボル:なし、注意喚起語:なし)
呼吸器感作性:	分類できない(シンボル:なし、注意喚起語:なし)
皮膚感作性:	区分外(シンボル:なし、注意喚起語:なし)
生殖細胞変異原性:	区分外(シンボル:なし、注意喚起語:なし)
発がん性:	区分外(シンボル:なし、注意喚起語:なし)
生殖毒性:	分類できない(シンボル:なし、注意喚起語:なし)
特定標的臓器毒性, 単回ばく露:	分類できない(シンボル:なし、注意喚起語:なし)
特定標的臓器毒性, 反復ばく露:	分類できない(シンボル:なし、注意喚起語:なし)
吸引性呼吸器有害性:	区分外(シンボル:なし、注意喚起語:なし)
水生環境有害性(急性):	分類できない(シンボル:なし、注意喚起語:なし)
水生環境有害性(長期間):	分類できない(シンボル:なし、注意喚起語:なし)
オゾン層への有害性:	分類できない(シンボル:なし、注意喚起語:なし)

GHSラベル要素

絵表示:	なし
注意喚起語:	なし
注意書き:	なし
危険有害性情報	
【安全対策】	なし
【応急措置】	なし
【保管】	なし
【廃棄】	なし

3.組成成分情報

化学物質・混合物の区分	混合物		
成分/含有量:	石油アスファルト	40-70	%
CAS番号:	8052-42-4		
化審法:	9-1720		
PRTR法:	— (特定できず)		
安衛法:	12-189		
成分/含有量:	ナフテン系石油留分	0-30	%
CAS番号:	64742-52-5		
化審法:	— (特定できず)		
PRTR法:	— (特定できず)		
安衛法:	— (特定できず)		
その他検知可能限界以下の成分		0-75	%

4. 応急処置方法

吸入した場合:	呼吸が難しい場合、新鮮な空気のある場所に移し呼吸が楽な姿勢で休息する。必要な場合は医師の手当てを受ける。症状が悪化あるいは持続する場合は、内科医に連絡する。
皮膚に付着した場合:	付着した場合、直ちに大量の水で皮膚を15分以上洗い流しながら、汚れた衣類や靴を脱ぐ。衣類及び靴は再度使用する前によく洗う。(または処分する。)
目に入った場合:	直ちに大量の水で目を15分間以上洗う。コンタクトレンズを装着している場合、決して洗浄を遅らせたり、レンズを取り外そうとしてはしたりしてはならない。刺激が悪化及び持続する場合は、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合:	口腔内を洗浄する。人工的に嘔吐させてはならない。被災者が本製品を飲み込んだ場合、マウスツーマウス法を行ってはならない。気分が悪いときは薬物センターあるいは医師・内科医に連絡する。

5. 消化の措置

消火剤:	水霧。泡。乾燥化学物質粉末。二酸化炭素(CO ₂)。火に水または泡を加えた場合、泡立つことがある。
使ってはならない消化剤:	火が散乱し燃え広がることがあるため、固体水を掛け流さない。
化学物質による特有の有害性:	火により刺激臭のある腐食性ガスおよび、有毒ガスが発生することがある。火災の際には、有害燃焼性ガスまたは蒸気が発生する可能性がある。アクロレインが発生する可能性がある。
消化に推奨される服装:	消防士は酸素補給装置付きのマスクを着用しなければならない。
特有の消化方法:	火災および爆破の際には、煙を吸い込まない。火災の際には、水を噴霧してタンク等を冷却する。

6. 偶発的放出時の措置

人体に関する注意事項、 防護装備および緊急時の措置:	不要な人員は現場から離す。清掃時は適切な防護装備および服を着用する。閉鎖空間の場合は、入室する前に換気を行う。こぼれた物質を触ったり、その上を歩いたりしない。
封じ込めおよび清掃の方法と 材料:	全ての着火源を取り除く(隣接する区域での喫煙、炎、火花、火炎は禁止)。後ほど処分するために、こぼれた現場のかなり手前に堤防を築く。製品を回収後、当該区域を水で洗い流す。回収した製品を、再利用するために元のコンテナに戻してはならない。
環境に対する注意事項:	安全な場合は、これ以上の漏出や放出を防ぐ。下水、水路および地面への流出または放出は禁止。

7. 取り扱いおよび保管

安全な取り扱いのための 注意事項:	本製品は不燃物である。熱くなると刺激臭のある蒸気が発生する可能性がある。適切な換気装置のない区域では使用しない。取り扱い後は手をしっかりと洗浄する。労働衛生基準を遵守する。
混触禁止物質を含む安全な 保管条件:	一般的な結合および接地技術を用いて、静電荷の蓄積を防ぐ。換気の良い場所に保管する。コンテナは密閉し、乾燥を維持する。混触禁止物質から離して密閉コンテナに保管する。子供の手の届かないところに保管する。

8. 暴露防止・保護措置

職業暴露制限値

米国 OSHA 表Z-1 大気汚染物質の制限値(29 CFR 1910.1000)

成分	タイプ	値	形態
留出物(石油)、 水素比重ナフテン系 (CAS 64742-52-5)	PEL	1立法メートルあたり5mg/	霧状

米国 ACGIH しきい値制限値

成分	タイプ	値	形態
アスファルト (CAS 8052-42-4)	TWA	1立法メートルあたり0.5mg	吸入可能な分留物

米国 NIOSH: 化学的危険に関するポケットガイド

成分	タイプ	値	形態
アスファルト (CAS 8052-42-4)	シーリング	1立法メートルあたり5mg	煙霧
留出物(石油)	STEL	1立法メートルあたり10mg	霧状
水素比重ナフテン系 (CAS 64742-52-5)	TWA	1立法メートルあたり5mg	霧状

生物学的制限値:
適切な技術管理:

内容物に関して、生物学的暴露制限値は確認されていない。
定義された職業暴露制限値を超えないよう、適切な局所抽気を含めた適切な換気を行う。

個人用保護装備などの個人保護措置

目・顔の保護: 安全メガネ、化学ゴーグル(飛散の可能性がある場合)を着用。
化学ゴーグル、顔面シールド(溶融物を取り扱う場合)を着用。

皮膚の保護

手の保護: 化学物質耐性手袋を推奨する。前腕に付着する可能性がある場合は、長手袋を着用する。

その他: 適切な保護服および目・顔面保護装備を着用する。
遮水エプロンの使用を推奨する。

呼吸器の保護: 労働者が暴露制限を超える濃度に直面している場合、彼らは適切な保証付の呼吸器を使用しなければならない。

熱による危険性: 本製品使用中に、熱傷を追う可能性がある。

一般的衛生面の配慮: 使用時は喫煙はしない。目への付着を避ける。皮膚への付着を避ける。飲食物から遠ざける。良好な労働衛生および安全慣行に従って取り扱う。

9. 物理的および化学的物質

外観:	固体。
物理的状态:	固体。
形態:	固体。
色:	黒。焦げ茶色。
匂い:	本製品は黒く、焦げたタール臭のする半固体である。
匂いのしきい値:	非該当。
pH:	非該当。
融点・凝固点:	150-250 °F(65.56-121.11°C)ASTM D36 軟化点
初留点および沸騰範囲:	>800 °F(>426.67°C)
引火点:	>400.0 °F(>204.4°C)
蒸発率:	非該当。
引火性(固体、気体)	非該当。
可燃あるいは爆発限界の最大値および最小値	
可燃限界の最小値(%):	非該当。
可燃限界の最大値(%):	非該当。
爆発限界の最小値(%):	非該当。
爆発限界の最大値(%):	非該当。
蒸気圧:	非該当。
蒸気密度:	非該当。
相対密度:	非該当。
溶解度	
溶解度(水):	非該当。
分配係数(n-オクタノール/水):	非該当。
自然発火温度:	>700 °F(>371.11°C)
分解温度:	非該当。
粘度:	非該当。
その他の情報	
密度:	非該当。
揮発率:	0%
比重:	1-1.9

10. 安定性および反応性

反応性:	反応性なし
化学的安定性:	通常取り扱いでは安定。
危険反応の可能性:	危険な重合は起こらない。
避けるべき条件:	強酸化剤
混触禁止物質:	酸化剤との混触禁止。
危険な分解生成物:	分解に際し、本製品は二酸化炭素、一酸化炭素、微量の窒素硫黄 酸化物および水とともに、刺激のある濃煙を放出する。

11. 有害性情報

起こりうる暴露経路に関する情報

吸入：	吸入すると有害の可能性がある。 しかしながら、現時点でこの製品は分類基準を満たしていない。
皮膚への付着：	頻回にまたは長時間付着した場合、皮膚の脱脂や乾燥を引き起こし、不快感や皮膚炎につながる可能性がある。
目への付着：	目に刺激がある可能性がある。
摂取：	飲み込んだ場合、消化管の不快感を引き起こすことがある。 嘔吐を誘発してはならない。嘔吐は製品誤嚥の危険性を高める可能性がある。
物理的、化学的および毒性学的特性に関連する症状：	非該当。

毒物学的影響に関する情報

急性毒性：	区分外。
皮膚腐食性および刺激性：	区分外。 皮膚の脱脂を引き起こす場合はあるが、刺激性および感作性はない。
目の重篤な損傷および刺激性：	区分外。

呼吸器または皮膚感作性

呼吸器感作性：	区分外。
皮膚感作性：	区分外。

生殖細胞変異原性：	修正エームズ試験によれば非変異原性。
発がん性：	本製品はIARC、ACGIH、NTPあるいはOSHAにおいて、発がん性物質とはみなされていない。
IAECモノグラフ。発がん性の総合評価：	記載なし。
発がん性物質に関する米国国家毒性プログラム(NTP)報告書：	記載なし。
米国OSHA特定規制物質(29 CFR 1910.1001-1050)：	規制なし。
生殖毒性：	生殖に毒性があるとされている成分は含まれていない。
特定標的臓器毒性一単回暴露：	区分外。
特定標的臓器毒性一反復暴露：	区分外。
吸引性有害性：	区分外。
慢性的影響：	長時間または繰り返し付着すると、皮膚の乾燥、ひび割れまたは刺激を引き起こす可能性がある。

12. 環境情報

生態毒性:	本製品に関する生態毒性の影響は確認されていない。 水生生物に有害性があるとは考えられていない。
残留性および分解性:	非該当。
生態蓄積性:	非該当。
土壌中の移動性:	非該当。
その他の有害作用:	非該当。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法:	内容物および容器は、地域・地方・国・国際間の規則に従って廃棄する。供給された本製品が廃棄物として処分される場合、40CFR261に基づくRCRA廃棄の定義に該当しない。
有害廃棄物コード:	非適用。
残留物・未使用製品からの廃棄物:	現地の規則に従って廃棄。
汚染された包装材:	洗浄済みの包装材を地域のリサイクル施設に提供する。

14. 輸送上の注意

国内規制	
陸上:	消防法 非危険物
海上:	船舶安全法 非危険物
航空:	航空法 非危険物
国際規制	
国連分類:	該当しない
国連番号:	なし
追加の規制:	現在のところ有用な情報なし

15.適用法令

消防法:	非危険物
労働安全衛生法:	区分外
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律:	産業廃棄物規則

16.その他の情報

引用文献:	ACGIH EPA:AQUIREデータベース 米国・化学物質職業ばく露に関するIARC研究論文 HSDB®-有害物質データバンク IARC研究論文・発がん性の総合評価 発がん性物質に関する国家毒物学プログラム(NTP)報告 しきい値制限値および生物学的ばく露指数に関するACGIH文書 化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会
-------	---

免責文:	安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として取扱う事業者を提供されるものです。 取扱う事業者はこれを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。 したがって、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。
------	---

改訂履歴

2026年10月1日

- ・社名変更
(三井住建道路株式会社からアルソシア道路株式会社へ変更)
- ・会社情報及び緊急連絡先更新
- ・製品組成、危険有害性情報に変更なし